

令和 2 年度

一般会計及び特別会計歳入歳出決算審査意見書

上里町監査委員

1. 審査の対象

令和2年度上里町一般会計歳入歳出決算及び関係帳簿・証書類

令和2年度上里町国民健康保険特別会計歳入歳出決算及び関係帳簿・証書類

令和2年度上里町介護保険特別会計歳入歳出決算及び関係帳簿・証書類

令和2年度上里町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算及び関係帳簿・証書類

令和2年度上里町農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算及び関係帳簿・証書類

2. 審査の期間

令和3年7月13日、14日、16日、19日、20日、21日、26日、29日 【8日間】

3. 審査の主眼及び方法

決算審査にあたっては、町長から提出された各会計歳入歳出決算書、歳入歳出事項項目別明細書、実質収支に関する調書、財産に関する調書及び収入状況、科目別支出済額、主要事業実施状況のほか、関係書類の説明を中心に関係法令、諸規定等に準拠して作成されているか否か、歳入簿・歳出簿等の関係諸帳簿と符合するか等に主眼をおき、既に執行した例月出納検査、定例監査の結果を参考とし、関係職員の説明を求めて審査を実施した。

4. 審査の概要

財政の状況

(1) 会計決算額

令和2年度各会計の歳入歳出決算額は、次のとおりである。

(単位：円)

区 分	令 和 2 年 度			
	歳 入 決 算 額	歳 出 決 算 額	差 引 額	
一 般 会 計 (A)	13,577,762,797	13,020,823,227	556,939,570	
特 別 会 計	〈1〉国民健康保険	3,153,307,499	3,074,015,662	79,291,837
	〈2〉介護保険	1,951,755,840	1,920,794,617	30,961,223
	〈3〉後期高齢者医療	295,089,372	291,484,422	3,604,950
	〈4〉農業集落排水事業	18,501,767	16,546,034	1,955,733
	計 (B)	5,418,654,478	5,302,840,735	115,813,743
合 計 (A) + (B)	18,996,417,275	18,323,663,962	672,753,313	

歳入決算額合計は、189億9,641万7,275円で、前年度（164億7,830万9,151円）に比べ、25億1,810万8,124円（対前年度比15.3%）の増額となっている。

歳出決算額合計は、183億2,366万3,962円で、前年度（157億1,550万1,900円）に比べ、26億816万2,062円（同16.6%）の増額となっている。

(2) 普通会計純計表

普通会計の収支状況は、次のとおりである。

町の会計は、普通会計等と公営事業会計とに区分して整理され、重複する繰入金・繰出金を控除したものが純計となる。

(単位:円)

区 分	令 和 2 年 度	令 和 元 年 度	増 減 額	増 減 率 (%)
歳入決算額	13,566,377,587	11,027,397,725	2,538,979,862	23.0
歳出決算額	13,009,438,017	10,425,219,676	2,584,218,341	24.8
差引残額	556,939,570	602,178,049		

この決算額を前年度と比較すると、歳入総額において25億3,897万9,862円（対前年度比23.0%）の増額、歳出において25億8,421万8,341円（同24.8%）の増額となっている。

一 般 会 計

①決算収支状況

(単位:円)

区 分	令 和 2 年 度	令 和 元 年 度	増 減 額	増 減 率 (%)
歳入総額	13,577,762,797	11,035,928,205	2,541,834,592	23.0
歳出総額	13,020,823,227	10,433,750,156	2,587,073,071	24.8
歳入歳出差引額	556,939,570	602,178,049	△ 45,238,479	△ 7.5
翌年度へ繰越すべき財源	45,105,000	38,025,000	7,080,000	18.6
実質収支額	511,834,570	564,153,049	△ 52,318,479	△ 9.3

令和2年度の実質収支額は、歳入歳出差引額 5億5,693万9,570円から翌年度へ繰越すべき財源 4,510万5,000円（繰越明許費繰越額4,510万5,000円）を控除した 5億1,183万4,570円であった。

②歳入

(単位:円)

区分 年度	予算現額(A)	調定額(B)	収入済額(C)	不納 欠損額	収入 未済額	予算執行率 (C)/(A)	収納率 (C)/(B)	備 考
令和2年度	14,196,615,000	13,835,042,005	13,577,762,797	8,982,223	248,296,985	95.6%	98.1%	還付未済額 535,776
令和元年度	10,794,429,400	11,237,434,032	11,035,928,205	21,873,872	179,631,955	102.2%	98.2%	還付未済額 630,837
比 較	3,402,185,600	2,597,607,973	2,541,834,592	△ 12,891,649	68,665,030			
増減率(%)	31.5	23.1	23.0					

収入済額及び収納率は、予算現額141億9,661万5,000円に対し、収入済額135億7,776万2,797円（対予算95.6%、収納率98.1%）で、この収入済額を前年度と比較すると、25億4,183万4,592円（対前年度比23.0%）の増額であった。

主なものは、国庫支出金が特別定額給付金事業の増などにより、35億7,208万5,874円（同310.1%）の大幅な増額となったこと、地方消費税交付金が増税の影響により、1億1,199万7,000円（同21.9%）の増額となったことによる。

款別歳入決算状況は次のとおりである。

款	区 分	令 和 2 年 度		令 和 元 年 度		増減額（円）
		金 額（円）	構成比率（%）	金 額（円）	構成比率（%）	
1	町税	3,955,906,774	29.14	4,015,833,534	36.39	△ 59,926,760
2	地方譲与税	122,965,000	0.91	123,015,012	1.11	△ 50,012
3	利子割交付金	2,710,000	0.02	2,563,000	0.02	147,000
4	配当割交付金	14,360,000	0.11	16,743,000	0.15	△ 2,383,000
5	株式等譲渡所得割交付金	17,207,000	0.13	10,117,000	0.09	7,090,000
6	法人事業税交付金	24,680,000	0.18	0	0.00	24,680,000
7	地方消費税交付金	624,476,000	4.60	512,479,000	4.64	111,997,000
8	ゴルフ場利用税交付金	8,730,400	0.06	10,737,090	0.10	△ 2,006,690
9	自動車取得税交付金	0	0.00	27,729,039	0.25	△ 27,729,039
10	地方特例交付金	42,437,000	0.31	69,853,000	0.63	△ 27,416,000
11	地方交付税	1,152,948,000	8.49	1,102,310,000	9.99	50,638,000
12	交通安全対策特別交付金	6,519,000	0.05	5,935,000	0.05	584,000
13	分担金及び負担金	55,528,966	0.41	96,896,134	0.88	△ 41,367,168
14	使用料及び手数料	102,949,859	0.76	105,577,622	0.96	△ 2,627,763
15	国庫支出金	4,723,989,665	34.79	1,151,903,791	10.44	3,572,085,874
16	県支出金	741,360,014	5.46	1,062,514,307	9.63	△ 321,154,293
17	財産収入	7,400,187	0.05	12,558,226	0.11	△ 5,158,039
18	寄付金	8,461,000	0.06	7,628,000	0.07	833,000
19	繰入金	647,048,293	4.77	612,054,737	5.55	34,993,556
20	繰越金	602,178,049	4.44	822,656,474	7.45	△ 220,478,425
21	諸収入	85,012,908	0.63	107,588,564	0.97	△ 22,575,656
22	町債	613,551,000	4.52	1,150,843,000	10.43	△ 537,292,000
23	環境性能割交付金	17,343,682	0.13	8,392,675	0.08	8,951,007
	計	13,577,762,797	100	11,035,928,205	100	2,541,834,592

③歳出

(単位:円)

区分 年度	予算現額(A)	支出済額(B)	翌年度繰越額	不用額	執行率 (B) / (A)
令和2年度	14,196,615,000	13,020,823,227	871,423,288	304,368,485	91.7%
令和元年度	10,794,429,400	10,433,750,156	59,894,000	300,785,244	96.7%
比較	3,402,185,600	2,587,073,071	811,529,288	3,583,241	76.0%
増減率(%)	31.5	24.8			

支出済額は130億2,082万3,227円(執行率91.7%)で、前年度に比べ25億8,707万3,071円(対前年度比24.8%)の増額であった。

この主なものは、総務費が34億1,496万746円(同194.7%)の増額、商工費が1億143万895円(同306.3%)の増額となったことによる。

款別歳出決算状況は次のとおりである。

款	令和2年度		令和元年度		増減額(円)
	金額(円)	構成比率(%)	金額(円)	構成比率(%)	
1 議会費	102,869,164	0.79	101,818,781	0.98	1,050,383
2 総務費	5,168,691,063	39.70	1,753,730,317	16.81	3,414,960,746
3 民生費	3,507,970,500	26.94	3,946,552,853	37.82	△ 438,582,353
4 衛生費	646,952,398	4.97	540,083,315	5.18	106,869,083
5 農林水産業費	155,449,113	1.19	513,180,878	4.92	△ 357,731,765
6 商工費	134,547,589	1.03	33,116,694	0.32	101,430,895
7 土木費	756,313,950	5.81	705,689,538	6.76	50,624,412
8 消防費	532,017,021	4.09	515,281,344	4.94	16,735,677
9 教育費	1,088,537,651	8.36	1,450,232,308	13.90	△ 361,694,657
10 公債費	926,610,521	7.12	872,902,605	8.37	53,707,916
11 諸支出金	864,257	0.01	1,161,523	0.01	△ 297,266
12 予備費	0	0.00	0	0.00	0
計	13,020,823,227	100	10,433,750,156	100	2,587,073,071

特別会計

決算収支状況

(単位:円)

区 分	令和2年度	令和元年度	増 減 額	増減率 (%)
歳入総額	5,418,654,478	5,442,380,946	△ 23,726,468	△ 0.4
歳出総額	5,302,840,735	5,281,751,744	21,088,991	0.4
歳入歳出差引額	115,813,743	160,629,202	△ 44,815,459	△ 27.9
翌年度へ繰越すべき財源	0	0	0	-
実質収支額	115,813,743	160,629,202	△ 44,815,459	△ 27.9

令和2年度の実質収支額は、1億1,581万3,743円となっている。

〈1〉国民健康保険特別会計

①歳入

(単位:円)

区分 年度	予算現額(A)	調定額(B)	収入済額(C)	不納 欠損額	収 入 未済額	予算執行率 (C)/(A)	収納率 (C)/(B)	備 考
令和2年度	3,131,582,000	3,235,934,199	3,153,307,499	9,289,310	73,337,390	100.7%	97.4%	還付未済額 2,301,300
令和元年度	3,194,254,000	3,352,619,549	3,259,960,978	12,088,335	80,570,236	102.1%	97.2%	還付未済額 1,451,000
比 較	△ 62,672,000	△ 116,685,350	△ 106,653,479	△ 2,799,025	△ 7,232,846			
増減率(%)	△ 2.0	△ 3.5	△ 3.3					

収入済額は31億5,330万7,499円で、前年度(32億5,996万978円)に比べ、1億665万3,479円(対前年度比△3.3%)の減額であった。

この主なものは国民健康保険税が1,226万8,770円(同△2.1%)の減額、県支出金が2,264万8,705円(同△1.0%)の減額、繰入金が4,834万5,206円(同△17.0%)の減額、繰越金が2,045万7,037円(同△17.7%)の減額となったことによる。

款別歳入決算状況は次のとおりである。

款	令和2年度		令和元年度		増減額(円)
	金額(円)	構成比率(%)	金額(円)	構成比率(%)	
1 国民健康保険税	582,083,682	18.46	594,352,452	18.23	△ 12,268,770
2 使用料及び手数料	450	0.00	750	0.00	△ 300
3 国庫支出金	3,601,000	0.11	1,433,000	0.04	2,168,000
4 県支出金	2,225,638,982	70.58	2,248,287,687	68.97	△ 22,648,705
5 財産収入	0	0.00	0	0.00	0
6 繰入金	235,647,494	7.47	283,992,700	8.71	△ 48,345,206
7 繰越金	94,935,334	3.01	115,392,371	3.54	△ 20,457,037
8 諸収入	11,400,557	0.36	16,502,018	0.51	△ 5,101,461
計	3,153,307,499	100	3,259,960,978	100	△ 106,653,479

②歳出

(単位:円)

区分 年度	予算現額(A)	支出済額(B)	翌年度繰越額	不用額	執行率 (B)/(A)
令和2年度	3,131,582,000	3,074,015,662	0	57,566,338	98.2%
令和元年度	3,194,254,000	3,165,025,644	0	29,228,356	99.1%
比較	△62,672,000	△91,009,982	0	28,337,982	145.2%
増減率(%)	△2.0	△2.9			

支出済額は30億7,401万5,662円で、前年度(31億6,502万5,644円)に比べ、9,100万9,982円(対前年度比△2.9%)の減額であった。

この主なものは、前年に比べ、国民健康保険事業費納付金が3,440万2,784円(同△4.4%)の減額、諸支出金が2,664万円(同△24.5%)の減額、保険給付費が1,649万1,282円(同△0.8%)の減額となったことによる。

款別歳出決算状況は次のとおりである。

款	令和2年度		令和元年度		増減額(円)
	金額(円)	構成比率(%)	金額(円)	構成比率(%)	
1 総務費	62,920,807	2.05	72,440,226	2.29	△9,519,419
2 保険給付費	2,144,779,220	69.77	2,161,270,502	68.29	△16,491,282
3 国民健康保険事業費納付金	749,295,326	24.38	783,698,110	24.76	△34,402,784
4 共同募金拠出金	510	0.00	510	0.00	0
5 保険事業費	35,069,588	1.14	39,026,085	1.23	△3,956,497
6 基金積立金	0	0.00	0	0.00	0
7 諸支出金	81,950,211	2.67	108,590,211	3.43	△26,640,000
8 予備費	0	0.00	0	0.00	0
計	3,074,015,662	100	3,165,025,644	100	△91,009,982

〈2〉介護保険特別会計

①歳入

(単位:円)

区分 年度	予算現額(A)	調定額(B)	収入済額(C)	不納 欠損額	収入 未済額	予算執行率 (C)/(A)	収納率 (C)/(B)	備考
令和2年度	1,963,616,000	1,966,246,640	1,951,755,840	3,066,100	11,424,700	99.4%	99.3%	還付未済額 522,700
令和元年度	1,862,641,000	1,898,991,108	1,883,607,808	3,024,700	12,358,600	101.1%	99.2%	還付未済額 207,600
比較	100,975,000	67,255,532	68,148,032	41,400	△933,900			
増減率(%)	5.4	3.5	3.6					

収入済額は19億5,175万5,840円で、前年度（18億8,360万7,808円）に比べ、6,814万8,032円（対前年度比3.6%）の増額であった。

この主なものは、前年度に比べ、支払基金交付金が4,236万4,943円（同9.7%）の増額、繰入金金が2,871万4,100円（同9.6%）の増額、国庫支出金が1,336万8,288円（同4.0%）の増額となったことによる。

款別歳入決算状況は次のとおりである。

款	区 分	令 和 2 年 度		令 和 元 年 度		増減額（円）
		金 額（円）	構成比率（%）	金 額（円）	構成比率（%）	
1	介護保険料	472,966,740	24.23	468,680,000	24.88	4,286,740
2	国庫支出金	347,485,523	17.80	334,117,235	17.74	13,368,288
3	支払基金交付金	478,890,943	24.54	436,526,000	23.17	42,364,943
4	県支出金	264,358,297	13.54	261,613,917	13.89	2,744,380
5	繰入金	326,414,900	16.72	297,700,800	15.80	28,714,100
6	繰越金	61,427,341	3.15	75,669,890	4.02	△ 14,242,549
7	諸収入	212,096	0.01	9,299,966	0.49	△ 9,087,870
	計	1,951,755,840	100	1,883,607,808	100	68,148,032

②歳出

（単位：円）

年度	区分	予算現額(A)	支出済額(B)	翌年度繰越額	不用額	執行率(B) / (A)
令和2年度		1,963,616,000	1,920,794,617	0	42,821,383	97.8%
令和元年度		1,862,641,000	1,822,180,467	0	40,460,533	97.8%
	比較	100,975,000	98,614,150	0	2,360,850	97.7%
	増減率(%)	5.4	5.4			

支出済額は19億2,079万4,617円で、前年度（18億2,218万467円）に比べ、9,861万4,150円（対前年度比5.4%）の増額であった。

この主なものは、保険給付費が1億1,613万5,672円（同7.3%）の増額、諸支出金が1,259万9,623円（同29.6%）の増額となったことによる。

基金積立金については4,228万1,000円（同△83.2%）の減額になっている。

款別歳出決算状況は次のとおりである。

款	区 分	令 和 2 年 度		令 和 元 年 度		増減額 (円)
		金 額 (円)	構成比率 (%)	金 額 (円)	構成比率 (%)	
1	総務費	69,938,194	3.64	59,495,751	3.27	10,442,443
2	保険給付費	1,699,496,466	88.48	1,583,360,794	86.89	116,135,672
3	基金積立金	8,510,000	0.44	50,791,000	2.79	△ 42,281,000
4	地域支援事業費	87,697,984	4.57	85,980,572	4.72	1,717,412
5	諸支出金	55,151,973	2.87	42,552,350	2.34	12,599,623
6	予備費	0	0.00	0	0.00	0
	計	1,920,794,617	100	1,822,180,467	100	98,614,150

〈3〉後期高齢者医療特別会計

①歳入

(単位:円)

区分 年度	予算現額(A)	調定額(B)	収入済額(C)	不納 欠損額	収入 未済額	予算執行率 (C)/(A)	収納率 (C)/(B)	備 考
令和2年度	306,070,000	297,192,682	295,089,372	162,260	1,941,050	96.41%	99.29%	還付未済額 258,600
令和元年度	287,391,000	284,253,768	282,376,498	658,220	1,219,050	98.26%	99.34%	還付未済額 257,330
比 較	18,679,000	12,938,914	12,712,874	△ 495,960	722,000			
増減率(%)	6.5	4.6	4.5					

収入済額は2億9,508万9,372円で、前年度(2億8,237万6,498円)に比べ、1,271万2,874円(対前年度比4.5%)の増額であった。

この主なものは後期高齢者医療保険料が911万6,570円(同4.5%)の増額、繰入金が197万1,000円(同2.8%)の増額、繰越金が194万662円(同334.0%)の増額となったことによる。

款別歳入決算状況は次のとおりである。

款	区 分	令 和 2 年 度		令 和 元 年 度		増減額 (円)
		金 額 (円)	構成比率 (%)	金 額 (円)	構成比率 (%)	
1	後期高齢者医療保険料	211,455,380	71.66	202,338,810	71.66	9,116,570
2	使用料及び手数料	0	0.00	0	0.00	0
3	繰入金	71,654,000	24.28	69,683,000	24.68	1,971,000
4	繰越金	2,521,655	0.85	580,993	0.21	1,940,662
5	諸収入	9,346,337	3.17	9,773,695	3.46	△ 427,358
6	国庫支出金	112,000	0.04	0	0.00	112,000
	計	295,089,372	100	282,376,498	100	12,712,874

②歳出

(単位:円)

区分 年度	予算現額(A)	支出済額(B)	翌年度繰越額	不用額	執行率 (B)/(A)
令和2年度	306,070,000	291,484,422	0	14,585,578	95.2%
令和元年度	287,391,000	279,854,843	0	7,536,157	97.4%
比較	18,679,000	11,629,579	0	7,049,421	62.3%
増減率(%)	6.5	4.2			

支出済額は2億9,148万4,422円で、前年度(2億7,985万4,843円)に比べ、1,162万9,579円(対前年度比4.2%)の増額であった。

この主なものは、前年に比べ、後期高齢者広域連合納付金が1,224万505円(同4.6%)の増額となったことによる。

款別歳出決算状況は次のとおりである。

区分 款	令和2年度		令和元年度		増減額(円)
	金額(円)	構成比率(%)	金額(円)	構成比率(%)	
1 総務費	14,094,810	4.84	14,359,066	5.13	△264,256
2 後期高齢者医療広域連合納付金	277,061,972	95.05	264,821,467	94.63	12,240,505
3 諸支出金	327,640	0.11	674,310	0.24	△346,670
4 予備費	0	0.00	0	0.00	0
計	291,484,422	100	279,854,843	100	11,629,579

〈4〉農業集落排水事業特別会計

①歳入

(単位:円)

区分 年度	予算現額(A)	調定額(B)	収入済額(C)	不納 欠損額	収入 未済額	予算執行率 (C)/(A)	収納率 (C)/(B)
令和2年度	18,262,000	18,525,287	18,501,767	0	23,520	101.3%	99.9%
令和元年度	16,681,000	16,456,242	16,435,662	0	20,580	98.5%	99.9%
比較	1,581,000	2,069,045	2,066,105	0	2,940		
増減率(%)	9.5	12.6	12.6				

収入済額は1,850万1,767円で、前年度（1,643万5,662円）に比べ、206万6,105円（対前年度比12.6%）の増額であった。

この主なものは国庫支出金が500万円（皆増）、分担金及び負担金が50万円（皆増）となったことによる。

なお、繰入金については299万7,000円（前年度対比△25.6%）の減額となっている。

款別歳入決算状況は次のとおりである。

款	令和2年度		令和元年度		増減額（円）
	金額（円）	構成比率（%）	金額（円）	構成比率（%）	
1 分担金及び負担金	500,000	2.70	0	0.00	500,000
2 使用料及び手数料	2,540,895	13.73	2,509,920	15.27	30,975
3 国庫支出金	5,000,000	27.02	0	0.00	5,000,000
4 繰入金	8,716,000	47.11	11,713,000	71.27	△ 2,997,000
5 繰越金	1,744,872	9.43	2,212,742	13.46	△ 467,870
6 諸収入	0	0.00	0	0.00	0
計	18,501,767	100	16,435,662	100	2,066,105

②歳出

（単位：円）

年度	区分	予算現額(A)	支出済額(B)	翌年度繰越額	不用額	執行率(B) / (A)
令和2年度		18,262,000	16,546,034	0	1,715,966	90.6%
令和元年度		16,681,000	14,690,790	0	1,990,210	88.1%
比較		1,581,000	1,855,244	0	△ 274,244	117.3%
増減率（%）		9.5	12.6			

支出済額は1,654万6,034円で、前年度（1,469万790円）に比べ、185万5,244円（対前年度比12.6%）の増額であった。

これは、事業費が185万5,244円（同19.9%）の増額となったことによる。

款別歳出決算状況は次のとおりである。

款	令和2年度		令和元年度		増減額（円）
	金額（円）	構成比率（%）	金額（円）	構成比率（%）	
1 事業費	11,176,110	67.55	9,320,866	63.45	1,855,244
2 公債費	5,369,924	32.45	5,369,924	36.55	0
計	16,546,034	100	14,690,790	100	1,855,244

5. 審査の結果及び意見

審査に付された一般会計、特別会計の歳入歳出決算書、歳入歳出決算事項別明細書、実質収支に関する調書及び財産に関する調書は、法令に準拠して作成されており、決算計数は関係帳簿、及び証拠書類と照合した結果、適切であると認められた。

一般会計における歳入の総額は、135億7,776万3千円で、前年度に対し25億4,183万5千円（23.0%）の増額となっている。増額となった主なものは、特別定額給付金給付事業に係る補助金や、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の皆増などにより、国庫支出金が35億7,208万6千円（310.1%）の増、地方消費税交付金が1億1,199万7千円（21.9%）の増、地方交付税が5,063万8千円（4.6%）の増、法人事業税交付金が2,468万円の皆増となっている。減額となった主なものは、空の杜保育園建設に伴う公立保育所整備事業債の減少などにより、町債が前年度に対し、5億3,729万2千円（46.7%）の減、強い農業づくり交付金の皆減などにより、県支出金が3億2,115万4千円（30.2%）の減、繰越金が2億2,047万8千円（26.8%）の減となっている。また、町税については5,992万7千円（1.5%）の減となっている。

歳出の総額は、130億2,082万3千円で、前年度に対し25億8,707万3千円（24.8%）の増額となっている。増額となった主なものは、特別定額給付金給付事業やキャッシュレス決済推進事業などにより総務費が34億1,496万1千円（194.7%）の増、プレミアム付き商品券発行事業補助金などにより、商工費が1億143万1千円（306.3%）の増、水道料金等減免に要する費用の皆増などにより、衛生費が、1億686万9千円（19.8%）の増となっている。減額となった主なものは、公立保育所整備事業の減などにより民生費が4億3,858万2千円（11.1%）の減、強い農業づくり交付金の皆減により、農林水産費が3億5,773万2千円（69.7%）の減、教育設備等整備基金積立金の減額などにより、教育費が3億6,169万5千円（24.9%）の減となっている。

今年度の自主財源構成比率は、前年度に比べ12.0ポイント減少の40.0%となっている。これは自主財源である町税や繰越金の減、依存財源である国庫支出金や各種交付金の増によるものである。

また、町の財政指標である経常収支比率は、前年度に比べ0.7ポイント増の90.1%となり財政の硬直化がわずかではあるが進展している。

収入未済額については、一般会計が2億4,829万7千円、特別会計が8,672万7千円となっており、合計で3億3,502万4千円で、前年度に比べ6,124万3千円（22.4%）の増となっている。収入未済額対策については、財源の確保のみならず、負担の公平性の観点からも極めて重要な課題であることから滞納者ごとの実態を的確に把握し、引き続き積極的な債権回収に取り組まれない。

また、不能欠損額については、一般会計・特別会計合わせて2,150万円で、前年度に比べ1,614万5千円（42.9%）の減であった。不能欠損額も引き続き注視しなければならない点である。

令和2年度に実施した主な事業は、新型コロナウイルス感染症対策として、プレミアム付商品券発行事業や、キャッシュレス決済推進事業、また、長幡小学校の大規模改修に向けた実施設計、GIGAスクール構想に基づく小中学校のICT環境整備などであった。また、交通インフラ整備に係る事業では、児玉工業団地アクセス道路の整備、リバーサイドロードの詳細設計などの実施であった。今後は「公共施設再配置・維持保全計画」に基づき、各施設の統廃合、複合・集約化、再配置、改修等行われる予定であり、町民へのよりよいサービスが提供されることを期待したい。

一方で、地方債の償還は引き続きピークを迎えており、財政状況は依然厳しい状況が続いている。また、新型コロナウイルス感染症の影響による先行き不透明な社会情勢に加え、いつ起こるか分からない自然災害にも引き続き注視していかなければならない。不安定な社会情勢ではあるが、町民の安心・安全を守り安定的な生活を提供するために緊急度を精査し計画的な行財政運営により、一層の行政サービスに努めていただけることを願い「選ばれる町・住みたい町」の実現に期待する。